


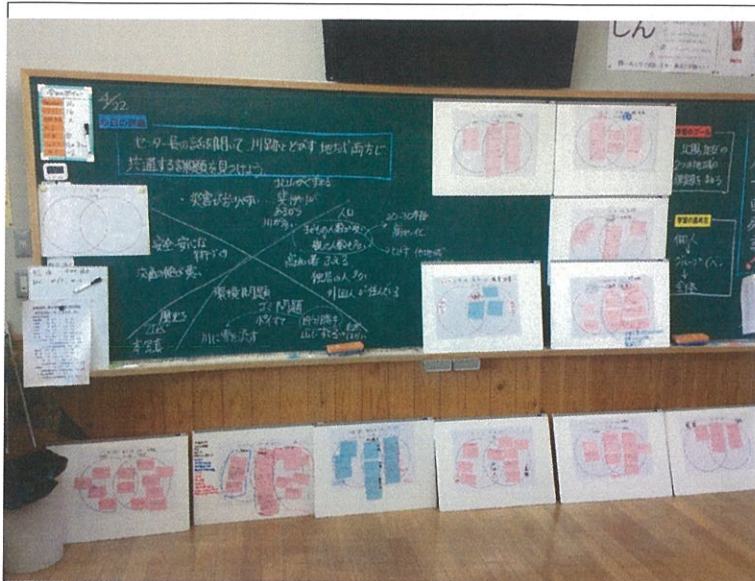
島根県出雲市立北陽小学校

(様式 4-2 : 2019 年度 モビリティ・マネジメント教育 (交通環境学習) にかかわる学校支援制度

実施結果報告書)

実施結果報告書

| | | | | | |
|--|----|---------|---|--------|----|
| 1. 学習名称：ふるさと北陽『よさ』、はっしん！！“夢”電車を走らせよう！ ～まちのよさを一畑電車で広めようプロジェクト～ | | | | | |
| 2. テーマ：地域の交通機関を使って地域課題（地域活性化）を解決する | | | | | |
| 3. 実施教科：総合的な学習の時間 | | | | | |
| 4. 関連単元： | | | | | |
| 5. 実施単元数：4（全70時間） | | | | | |
| 6. 学年 | 6年 | 7. クラス数 | 1 | 8. 生徒数 | 33 |
| 9. 実施内容 本校は、総合的な学習の時間の研究をしており、学級単位で、年間70時間を通して、一つの材を使って、総合的な学習を行っている。地域での活動から設定した課題に対して、児童自らが主体的に向かい、そして、一緒に活動する仲間との協働・対話（関わり）を経て思考を深め、課題を解決している。 <小単元①> 今年の総合的な学習の時間で身につけたい力や、総合にかける思いを話し合っていると、「地域の課題を知り、それを解決し、地域の役に立ちたい」という子どもたちの思いが見えてきた。そこで、コミュニティセンター長に地域課題について話をしてもらい、その中から、自分たちができることは何か、考えた。5年生の時に地域で見つけた伝統行事を地方紙に載せて発信をした。この経験を生かして、地域のよさを発信し、広め伝えていくこと、地域活性化ならできるのではないかと考え学習をスタートさせた。 | | | | | |
|  | | | | | |
| コミュニティセンター長の話を聞く児童たち | | | | | |



どんな課題があるか全員で考え、地域活性化についての課題をみんなで考えることとなった。

<小単元②>

北陽のまちには、一畑電車の駅が3つある。一畑電車沿線にあることを使って、何かできないかと考えた。一畑電車についてまずは知ることが第一歩ということで、一畑電車株式会社の野津さんに話を聞いた。



一畑電車株式会社野津さんよりお話を伺う

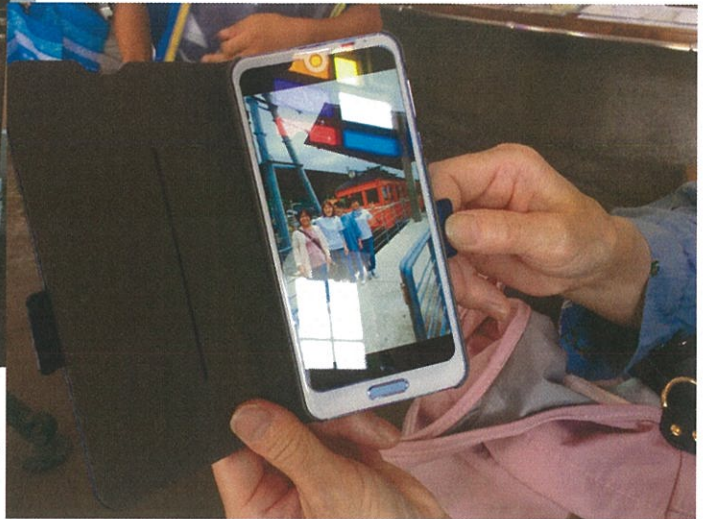
また、実際に駅に行ったり、一畑電車に乗ったりすることで、最寄り駅の川跡駅では下車する人も乗車する人もほとんどいない現実を知ることとなった。



乗り換えのためのお客さんは多いが、下車する人はほとんどいない。



一方で出雲大社駅はたくさん下車する人がおり、そのギャップに地域活性化の課題の切実感をよりもつこととなった。少しでも地域内外の人に、北陽地域について知ってもらい、地域を盛り上げるための方法を考えるようになった。



出雲大社駅でインタビュー
デハ二と記念撮影をする観光客も
いることがわかった

家の人へのインタビューや他鉄道の取り組み、一畑電車の取り組みなどを調べ、スタンプラリーや花のしおりプレゼントなどのイベントや活動をしたいという意見がでてきた。

出てきた意見をしぼり、プレゼンテーションで野津さんに提案をした。大型すごろくイベント、花のしおりをくばる、ポスター、リーフレット、アナウンスなどの意見から、野津さんから人手やお金の問題を指摘された。現実問題を知り、一畑電車と「中吊り広告」と「車内アナウンス」ならできそうだと考えが合致した。

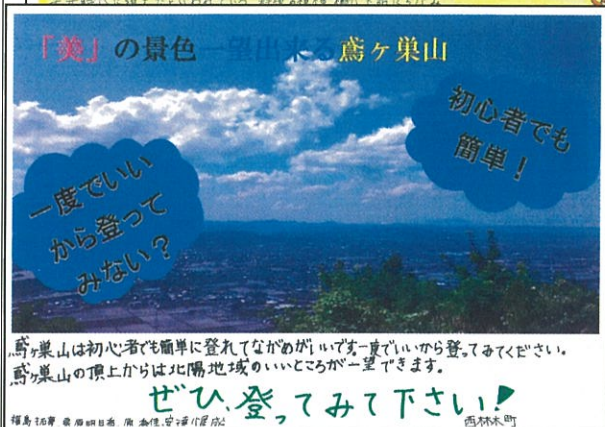


野津さんに自分たちの考えた
企画をプレゼンテーションした

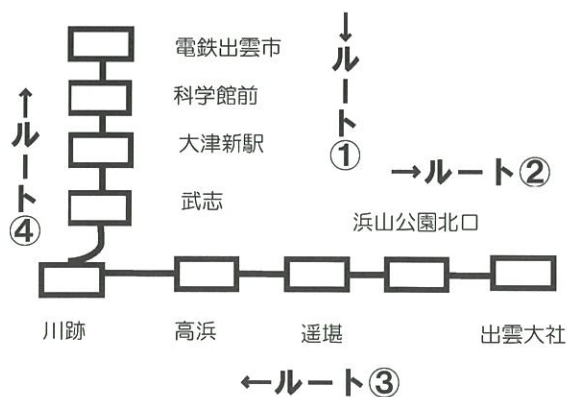


<小単元③>

2 学期は、中吊り広告について学ぶことから始まった。色々な中吊り広告を比べ、中吊り広告のメリットやデメリット、特徴（レイアウトなど）を考えた。そこから、自分たちが伝えたい北陽の魅力や情報を取捨選択し、広告を作成した。広告デザイナーの方からアドバイスももらい 10 月に中吊り広告が完成し、電車内に広告を掲示してもらった。



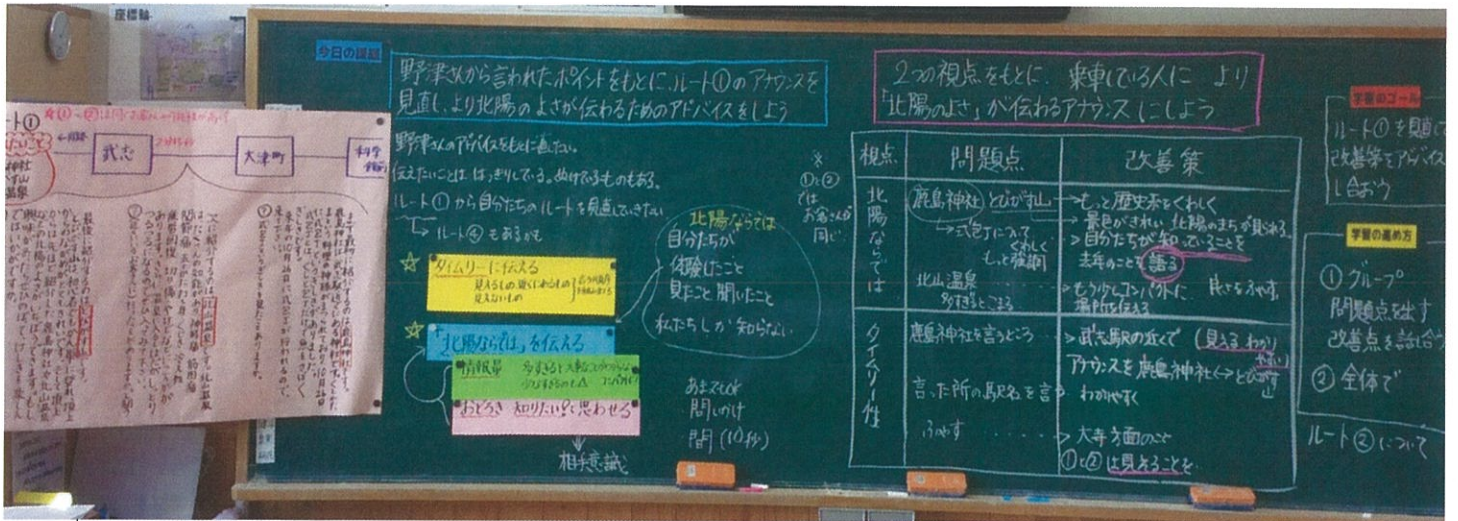
中吊り広告作成後、次はアナウンスに取りかかった。時間の制約のある中、北陽の宣伝を行うため、原稿作りは全員で吟味しながら行った。



ルートを4つにわけ、4つのチームでまずは原稿作りをしていった。

進めるなかで、インターネットで知れる情報などよりも、自分たちが見たり聞いたりした、今まで体験してきた情報「北陽ならではの」を盛り込んだ方が聞いてもらえるのではないかとわかってきた。

それぞれのルートごとに考えた原稿を全体でブラッシュアップする作業を行った。



窓から見えるもの、見えないけど伝えたいことなどを取捨選択し、原稿を改善させ、原稿を完成させた。



グループで、P&Sシートを使用し、「北陽ならではの」の視点に絞ってアナウンス内容を厳選している様子→

11月21日に、実際に乗車し、アナウンスを行った。乗客に聞いてもらい、拍手ももらった。



10、学習の流れ（年間指導計画）

| | |
|--|--|
| <p>小単元の学習課題 ○学習活動</p> <p>①「総合で北陽のまちのためにできることは何だろう」 (8時間)</p> <p>○今年の総合で目指す姿について確かめる。 ○まちの人の声、コミュニティセンターのセンター長の話聞いて地域課題について取材し、課題について知る。 ○自分たちが地域課題に対してできること、地域の役に立てそうなことを考える。 ○地域の見どころを調べ、それらをどう発信すると効果的か考える。</p> | <p>・子どもの思いと、小単元で期待する姿</p> <p>・今年の総合でも地域の方とたくさん関わりたいな。地域のために何かできないかな。 ・地域の課題って何だろう。 ・川跡と鳶巣の2つの地域で共通する課題って何だろう。 ・北陽のまちならではのよさとは何だろう。 ・5年生では新聞を書いて広めた。まちのよさをもっと発信する方法を見つけないかな。 ・2つの地域に共通するものは、一畑電車や駅。これで北陽のまちを盛り上げること</p> |
| <p>小単元で期待する姿</p> <p>今まで学習してきたことで、北陽の自然や伝統行事など、よさや見どころがよくわかった。これらを地域の人に伝えたり、地域外の人に広めたりすることで地域を盛り上げたい。広めるためには5年生でやった「新聞記事で広める」以外に効果的な方法があるのかな。</p> | |
| <p>②「一畑電車ならではって何だろう？北陽のまちのよさをもっと広めるために一畑電車を使ってできることを見つけよう」 (14時間)</p> <p>○一畑電車株式会社野津さんから一畑電車について教えてもらい、一畑電車ならではの取組など工夫を知る。</p> <p>○まちのよさを生かした他鉄道の独自の取組を調べる。 ○川跡駅や出雲大社駅に行って、一畑電車のよさなどを調べたりインタビューしたりしよう。</p> <p>○一畑電車の独自の工夫をもとに、一畑電車でもまちを笑顔にする方法を考える。 ○自分たちが北陽のまちの活性化のためにできそうなことを考え、一畑電車の野津さんにプレゼンテーションを行う。</p> | <p>・一畑電車は歴史があるんだ。 ・一畑電車に乗りたくない人や無くてはならない人もいて、一畑電車ならではのよさがある。 ・一畑電車は、地域のたくさんの人に求められる一方でたくさんの方の支えでなりたっているんだなあ。 ・他の電車は何か工夫された取組があるのだろうか。 ・川跡駅はほとんど人が降りないな。通勤や通学で使う人ばかりで、観光に使う人はいない。 ・大社駅は観光客が多い。駅にもたくさんのポスターがある。 ・もっと地域を盛り上げるために何かしたい。 ・自分たちができそうなことがいくつかありそうだ。</p> |

・地域の人にも喜ぶようなことがしたい。

地域のよさを広めるために何かしたい。でも、川跡駅は観光で降りる人がほとんどいない。大社駅にはたくさん人がいるのに。川跡駅で降りてもらうためにももっと北陽を宣伝したほうがいいな。一畑電車ならではのよさと北陽のまちならではのよさが合わさるような何かをしたい。
自分たちでできそうな、まちのよさを広められる方法を野津さんからアドバイスをもらった。何をしようか考えていこう。

③「一畑電車で北陽のまちを笑顔にする方法一畑「夢」電車企画を考え、実行しよう」(全28時間)

- プレゼンテーションを経て、北陽のまちについて知ってもらうよりよい方法を考え、決める。
- ポスター、中吊り広告を使ってまちのよさを広めよう。中吊り広告について知る。色々な中吊り広告を比べてよりよいものを見つける。
- 中吊り広告のデザインを考えよう。もっとよい広告ができるか広告を作るようプロに教えてもらう。
- 中吊り広告を作ろう。
- 作った中吊り広告を見て、アドバイスをし合おう。
- ポスターだけでは伝わらない情報を伝えるための直接的な方法、アナウンスについて知る。
- アナウンスの仕方を元アテンダントの方に教えてもらう。
- 伝えたい情報を整理する。
- アナウンスの原稿を作ろう。
- 北陽のよさがもっと伝わる原稿を作るためにアテンダントさんにアドバイスをもらい、改善しよう。

- アナウンスの練習を行う。
- 電車の中でお客さんにアナウンスをしよう。

④「地域の人へも広めよう。今までの活動を発信し、ふり返ろう」(20時間)

- より良い中吊り広告を作って北陽のよさを広めていこう。
- もう一度アナウンスをしよう。それに併せてり

・直接、観光している人、地域の人、他地域の人に伝えたら効果的だと思う。

・川跡駅では人が下車する人が少ないから、電車の中のポスターや中吊り広告で少しでも北陽のよさを広めるといいのではないかな。

・広告やポスターは、もっと分かりやすいものにしたい。広告やポスターを作るプロに教えてもらいたい。

・ポスターだけではよさが伝わらない。やっぱりアナウンスで直接伝えたい。

・車内アナウンスは、駅から駅までの短時間。何をどんな風にアナウンスすると効果的かな。

実際、アナウンスをやってみると難しい。短い時間にどれだけの情報が入られるのかな。効果的なアナウンスってどうしたらいいのかな。ポスターについてもより魅力が伝わるポスターとはどんなポスターなのだろう。一畑電車を利用する人に本当に北陽のよさを伝わったのだろうか。自分たちの活動を、さらに地域の方にも伝えたい。

- ・もっと広まる中吊り広告を作りたいね。
- ・アナウンスを聞いてくれた人は北陽のよさをわかってくれたのかな。
- ・やはりリーフレットがあった方が伝わる

リーフレットを作って北陽のよさをさらに広めよう。自分たちの活動を残そう。

- 広告やアナウンスでまちのよさが広まったか確かめる。
- 地域の人たちにも私たちの活動を知ってもらおう。
- 自分たちが行った活動を生かして、地域にまちのよさを広めるイベントを総合発表会で行う。
- 今年の総合で自分たちに身についた力について話し合い、これら自分たちにできることについて考える。北陽のまちのために少しでも役に立つことができたかアンケートなどで検証し、振り返る。
- 中学校につながる力がついたかみんなで確かめる。

よ。リーフレットを作りたいな。

- ・地域の人にももっと伝えないといけないね。
- ・伝わったかどうかアンケートをとるといいね。
- ・総合発表会を通して、自分たちの活動をもっとたくさんの地域の方に伝えたいな。